■大山捨松　　会津藩の悲劇後，若年でアメリカ留学，大山巌と結婚し"鹿鳴館の華"，看護活動支援の一方，様々な批判に苦労。
おおやますてまつ
桜田門外変・1860＝　　会津若松で，会津藩の財務担当家老山川尚江の末娘に生れる。母は唐衣。旧姓山川咲子。誕生前に父が病死したため，母と祖父兵衛重英に育てられる。

全国で，最も高レベルの教育と，最も厳しい躾を受けて育ち，幼時より，皆の模範になることを志す。

明治維新・・1868＝ 8歳：_戊辰戦争の籠城時は負傷者の看護にあたり，降伏後，それまでの一切を失い，家族と共に塩川村に移される。長兄浩は藩主容保に同行し東京の謹慎所へ。次兄健次郎は，秋月悌次郎の配慮で，越後に向かう。
版籍奉還・・1869＝ 9歳：
初の日刊新聞1870＝10歳：_兄浩に引率され母姉達と斗南(青森県)移住，困苦のなか娘に満足な食事も与えられないことから，
廃藩置県・・1871＝11歳：_箱館のギリシア正教宣教師宅に預けられて暮らすうち，遣米使節団派遣に合わせて，黒田清隆の意見で，少女の留学生を募集することになり，山川家の決断で，旧幕臣の娘5人の一人となって横浜を出航。母は娘を"捨てたつもりで待つ"と"捨松"と改名。アメリカのサンフランシスコに着くや5人娘は人気を独占，
学問のすすめ1872＝12歳：_ワシントンに到着も相変わらずであったが，年長だった吉益亮子・上田悌子はホームシックとなって帰国。永井繁子とともにニューヘイヴンのベーコン牧師宅に引取られ，津田梅子はランメン宅へ。
明治6年政変 1873＝13歳：
この間，エール大学に留学していた兄健次郎から日本忘れぬように何かと指導されるなか，_ベーコン夫人に可愛がられ，娘のアリスと姉妹のように親しくなり，女子教育への志に強く感化されて，
初の民間工場1875＝15歳：兄健次郎がエール大学を卒業し，日本へ帰国。ニューヘイヴンの_ヒルハウス高校に入学。上流階級のつくる"ヒルハウス・ソサエティ"の女性グループに参加し，慈善活動について多くのことを学ぶ。
三つの反乱・1876＝16歳：兄健次郎が心配していたキリスト教のことも本国で解禁となっており，この年，_受洗。
大久保暗殺・1878＝18歳：学問に励んで，_名門ヴァッサーカレッジに入学。
琉球処分・・1879＝19歳：早くもクラス委員長に選ばれ，優等生のみの"シェークスピア・クラブ"メンバーになるほどで，
明治14年政変1881＝21歳：ベーコン牧師が死去。留学期限が来て本国から帰国命令が来，繁子が帰国。梅子と期間延長願い出，
新体詩抄・・1882＝22歳：1年のみ延長認められ，_優秀な成績で卒業，代表の一人としての演説も好評，コネチカット看護婦養成学校に通い上級看護婦の免状を得て，帰国。しかし，国は維新当初の開明的なものは消え，帰国女子のためには，何の仕事も用意していなかったことに失望，アリスと東京に学校を作ることも，ままならず，2人の帰国を待って結婚した繁子の瓜生家が留学帰りの若者の溜まり場だったこともあって，梅子と入り浸り
岩倉具視没・1883＝23歳：*演劇クラブつくって益田孝邸で「ヴェニスの商人」上演。{インディペンデント}紙に「日本の印象」を寄稿などするうち，後妻を探していた陸軍卿大山巌が一目ぼれ，直接会うや自分も大山に惚込んだが，旧敵薩摩人との結婚は許さないと山川家に反対され，自らも教育の夢を実現したいと先送りするうち，文部省から東京師範学校の教師の職を依頼されるも，日本語が初等教育レベルだったことで叶わず，ついに，結婚して道を開くことを決意。完成直後の鹿鳴館で盛大な結婚披露宴，英・仏・独語を駆使，冗談を織交ぜ諸外国の外交官たちと談笑，たちまち"鹿鳴館の華"となる。しかも，人前で，夫のことを"いわを"と呼んだのである。
秩父事件・・1884＝24歳：久子を出産。欧州視察中の夫が伯爵に。_伊藤博文の依頼で華族女学校の設立準備委員になるも，儒教的なことに失望。日本赤十字社のため鹿鳴館で日本初のチャリティーバザーを開いて大金集まる。
内閣発足・・1885＝25歳：帰国した夫が陸軍大臣になり，_伯爵大臣夫人として上流社会にゆるぎない地位を占める一方，仮装舞踏会開くまでに至った欧化主義への批判のトバッチリを受け，{朝野新聞}に離婚噂の中傷記事。
帝国大学始・1886＝26歳：長男高を出産。_バザーの金ほかで，日本初の看護婦学校・有志共立病院看護婦教育所が設立される。
国民之友始・1887＝27歳：
初の対等条約1888＝28歳：_華族女学校講師にと要請していたアリスが来日，感激の再会。宮内省より洋化顧問係を依頼される。
帝国憲法発布1889＝29歳：アリスが帰米。次男柏を出産，前妻の3人の娘と合わせ大家族になる。穏田の新豪邸に移転し，
帝国議会始・1890＝30歳：_明治天皇の大山邸行幸を迎える。
足尾鉱毒始・1891＝31歳：アリスが「日本の女性」出版。梅子が帰国。政治嫌う夫が陸軍大臣辞任，大将となるも，
大本教・・・1892＝32歳：第二次伊藤内閣で懇請され，夫が再び陸軍大臣となる。
郡司千島探検1893＝33歳：病弱だった長女信子が子爵三島弥太郎(故通庸長男)と結婚するも，結核の疑いで即離縁話が起き，
日清戦争始・1894＝34歳：*日清戦争に際しては，夫が第二軍司令官として重責担うなか，銃後で寄付金集めや婦人会活動に時間を割くかたわら，看護婦の資格を生かして日本赤十字社で戦傷者の看護もこなし，政府高官夫人たちを動員して包帯作りを行うなどの活動も行い，
日清戦争終・1895＝35歳：夫が陸軍大臣に復帰。長女信子が三島弥太郎と正式離婚，
松隈内閣・・1896＝36歳：慈しむも長女信子が死去し，悲劇始まる。夫は陸軍大臣辞任。
子規句歌革新1898＝38歳：夫が元帥となる。長兄浩死去。津田梅子が万国婦人連合会に出席のため渡米。_{国民新聞}に，大山前夫人をモデルにした徳富盧花の「不如帰」連載が始まり，
Bushidou・・1899＝39歳：川上操六が急逝，その後任として，夫が陸軍参謀総長となる。次女芙蓉子が男爵細川潤次郎長男と結婚。梅子が帰国。_完結して刊行されてベストセラーとなり，欧化夫人の典型として，多くの読者から嫌悪感を抱かれることになり，以後，悩みの種。
ﾋﾟｱﾉ国産化・1900＝40歳：三女留子が伯爵渡辺千秋次男と結婚。_アリスの再来日を得て，津田梅子が設立しようとしていた女子英学塾を全面的に支援，顧問となり，成功に導く。
教科書疑獄・1902＝42歳：アリスが帰米。夫が20年前から所有する那須野の開墾地に大山農場を開き，以後，暇を見ては農作業する一方，まもなく巌が建設したレンガ造りの別荘で，要人をもてなすことにも対応。
日露戦争始・1904＝44歳：社団法人女子英学塾の理事となる。_日露戦争が起き，夫が最も好きだったという部下児玉源太郎が奔走，天皇の下命により夫が満州軍総司令官となって出征，奮闘するなか，
日露戦争終・1905＝45歳：*日赤篤志看護婦人会理事として救援活動を活発におこない，アリスを通じて日本の立場や苦しい財政事情などを訴えると，多くの義援金が集まってアリスから送金され，さまざまな慈善活動に活用。さらにアメリカの大衆紙{コリアーズ・ウィークリー}に投稿して，アメリカ世論を親日的に導くうち，日露戦争に勝利し，夫が凱旋。この間も，英学塾への支援を怠らず，女子英学塾同窓会長に就任。
満鉄発足・・1906＝46歳：四女久子が男爵井田磐楠陸軍中尉と結婚。_女子英学塾校資募集委員会の委員長となる。
韓国反日暴動1907＝47歳：梅子が持病の喘息が悪化，療養のため渡米。夫が功一級金鵄勲章を受け，公爵となる。
ｱﾗﾗｷﾞ創刊・ 1908＝48歳：梅子が帰国。_親の七光りを避け海軍を選んだ長男高が，海軍兵学校卒業直後，軍艦の火災事故で死去，衝撃に耐えられず，しばらく夫とともに，那須野の別荘に引籠り，アリスへの音信も途絶える。
大逆事件判決1911＝51歳：女子英学塾創立十周年を迎える。
明治天皇没・1912＝52歳：
第一次大戦始1914＝54歳：
21ヶ条要求・1915＝55歳：次男柏が近衛篤麿公爵長女武子と結婚し，_8年ぶりにアリスに手紙するが，
民本主義・・1916＝56歳：柏夫婦に男子が誕生直後，_夫が体調崩し，療養するも死去。国葬が挙行される。社交界から身を引き，
本格政党内閣1918＝58歳：ニューヘイヴンで_アリスが死去したのを聞いて深い悲しみに沈み，
ﾍﾞﾙｻｲﾕ条約・1919＝59歳：*蘆花の謝罪記事が雑誌に出，梅子が病に倒れて女子英学塾が混乱すると，自らが先頭に立ってその運営を取仕切り，辻マツを説得して塾長代理就任にこぎつけた直後，スペイン風邪で倒れ，没した。
長兄浩は陸軍中将，次兄健次郎は東京帝国大学総長をつとめ，長姉二葉は昭憲皇太后(明治天皇の皇后)の女官をつとめた。

久野明子「鹿鳴館の貴婦人」，「日本の女性」。NHK「英雄の選択」により追補，